



会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 長谷川閑史
(コード番号 4502 東証第1部)
報道関係問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部
Tel 03-3278-2037

News Release

2013 年 3 月 27 日

当社光工場で細胞培養技術を用いて製造する新型インフルエンザワクチンの 日本における製造販売承認申請について

当社は、本日、当社光工場で細胞培養技術を用いて製造した新型インフルエンザワクチン(H5N1 インフルエンザワクチンおよびプロトタイプワクチン※)について、厚生労働省に製造販売承認申請を行いましたのでお知らせします。

当社は、新型インフルエンザワクチンの国内における開発・生産体制の整備に向けて、2010 年 12 月、バクスターインターナショナルインク(本社:米国イリノイ州、以下「バクスター社」と、同社の細胞培養技術を用いた新型インフルエンザワクチンの製造技術を日本で独占的に使用するライセンス契約を締結し、当社光工場において生産施設の整備を進めるとともに、バクスター社と共同で新型インフルエンザワクチンの開発を実施してまいりました。

今回の申請に先立ち、当社とバクスター社は、2012 年 9 月、バクスター社が欧州工場で製造した新型インフルエンザワクチンについて、厚生労働省に共同で製造販売承認申請を行っています。当社は、今般、当社光工場で製造した新型インフルエンザワクチンが、バクスター社が欧州工場で製造した新型インフルエンザワクチンと同等であることを確認しており、国内で新型インフルエンザワクチンを生産し、供給することを目的に、光工場製造品の製造販売承認申請を実施しました。

なお、新型インフルエンザワクチンの国内における開発・生産体制の整備にあたり、当社は、日本政府の「新型インフルエンザワクチン開発・生産体制整備臨時特例交付金」交付事業における財政支援先に選定されています。

当社は、60 年以上にわたり国内で小児ワクチンの安定供給に努めてまいりました。政府助成のもとに取り組んでいる国内における新型インフルエンザワクチンの開発・生産体制の整備は、当社としての社会的使命と考えており、同ワクチンの 2013 年度中の製造販売承認取得を目指し、引き続き当局と連携してまいります。

※プロトタイプワクチンとは、H5N1 以外のインフルエンザウイルスが流行した場合に迅速に対応するために開発するワクチンです。

以上